

# 議会だより

題字は、下石小学校6年 かとうゆうき 加藤佑季さんです。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



## Contents

- 第5回定例会報告…………… 2～5
- 一般質問…………… 6～11
- 視察報告…………… 12
- 議会報告会を開催しました…………… 13
- 編集後記…………… 14

### 浦山第二砂防堰堤（妻木町）

妻木町は、昔から陶磁器原料の採掘や木々の伐採などによって山が荒廃し、土砂災害に悩まされてきました。それを防ぐために多くの砂防施設が設置されてきました。

浦山第二砂防堰堤は昭和18年（1943年）に完成した高さ5m、長さ28mの砂防堰堤です。当時は戦時中でコンクリートなどの物資の調達が難しく、切石だけを積み上げて造られました。地元の石工の技術の高さが可能にしたもので、現在では再現が困難であることから平成18年（2006年）に国の登録有形文化財に登録されました。

# 平成29年 第5回定例会報告

第5回定例会には、平成29年度補正予算関係4件、条例関係4件、その他の案件3件の合計11件が市長から上程されました。このうち人事案件1件「土岐市功労章の授与について」は、旭日双光章を受章されました齋木克躬さん（下石町）への授与を2日目に可決し、12月8日に議場において授与式が行われました。

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第81号	平成29年度土岐市一般会計補正予算（第5号）	補正額 269,689千円
議第82号	平成29年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 49,561千円
議第83号	平成29年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第2号）	補正額 2,542千円
議第84号	平成29年度土岐市病院事業会計補正予算（第1号）	収入補正額 869千円 支出補正額 3,473千円
議第85号	土岐市職員の子育休休業等に関する条例の一部を改正する条例について	国家公務員の子育休休業等の取扱いに準じて、職員の子育休休業等の取扱いを見直すため
議第86号	土岐市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例について	長期継続契約を締結することができる契約の内容を見直すため
議第87号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う土岐市固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴うもの
議第88号	土岐市郷土物産陳列所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	土岐市郷土物産陳列所を廃止するため
議第89号	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の変更について	岐阜県市町村職員退職手当組合理約の変更に係る昭和52年10月1日以降の岐阜県知事許可が無効であるため、この規約を変更しようとするもの
議第90号	土岐市功労章の授与について	齋木克躬さんへの授与
議第91号	土地の処分について	市有地である泉町久尻字丸石1459番107外4筆を売却しようとするもの
議第92号	土岐市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	市議会議員の期末手当の額を改定するため
議第93号	土岐市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	常勤の特別職職員の期末手当の額を改定するため
議第94号	土岐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	国家公務員の給与改定に準じて、職員の給与を改定する等のため

今定例会に上程されました予算関係、条例関係、その他の案件の10件については、各常任委員会に付託され、12月12日～13日に審査し、本会議において、原案のとおり可決しました。

また、最終日には、追加議案3件（条例関係）が上程され、委員会審査のち、本会議において、原案のとおり可決しました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。



△土岐市功労章授与式

議案番号	議決結果	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰支	楓 博元	杉浦 司美	渡邊 隆	高井由美子	山内 房壽	小栗 恒雄	西尾 隆久		
議第81号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	
議第82号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第83号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第84号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第85号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第86号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第87号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第88号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第89号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		長	○	○	○	○	○	○	○
議第90号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
議第91号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
議第92号	可決	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○		○	×	○	×	○	○	
議第93号	可決	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○		○	×	○	×	○	○	
議第94号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

○：賛成 ×：反対

## 委員会報告(第1常任委員会)

平成 29 年度土岐市一般会計補正予算 (第 5 号)  
所管部分について

**質疑** 社会保障・税番号制度対応システム改修委託料の改修内容について。

**答弁** 平成 30 年 7 月に、データ標準レイアウトが変更となり、それに対応するシステム改修である。

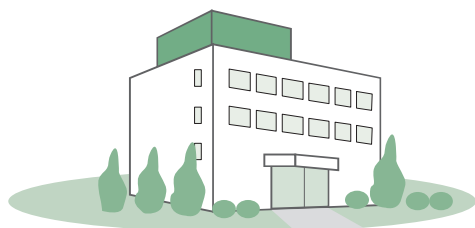
企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う土岐市固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

**質疑** 改正前の条例で適用を受けていた企業は何かあるのか。

**答弁** 今までに対象となった企業は 9 社ある。平成 29 年度は 2 社あり、経過措置で 3 年間課税免除される。

**質疑** 土岐口開発事業で、特例を受けることはできるのか。

**答弁** 商業施設は、特例措置の対象外となる。



土岐市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

**質疑** 今回の改正でどれくらい増額になるのか。

**答弁** 総額 86 万 2 千円程度の増額になる。

**討論** 昨年、ごみ処理手数料やその他使用料、手数料の改定がされた中、議員の期末手当の改定は、市民感情からも理解が得られないと考えこの条例には反対する。

土岐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

**討論** 人事院勧告に基づく給与改正であり、この条例に賛成する。

平成 29 年度土岐市病院事業会計補正予算(第 1 号)  
について

**質疑** 駄知診療所屋根防水シートの全面改修について、工事保証期間中に修繕することができなかったのか。

**答弁** 今年の 7 月に保証期間が満了となり、その後漏水が発覚したため、適用外である。

**質疑** 現在の工法では、短期間で再度修繕が必要となるため、他の工法で施工し、長期間維持させる考えはないのか。

**答弁** 建設から、かなりの年数が経過しており、大きな投資は、今後の将来展望を踏まえ検討しなければならない。今回は、現状の機能を維持するための修繕である。



土地の処分について

**質疑** 最低売却価格と価格設定根拠は。

**答弁** 2 億 6 千 3 百万円で、価格の設定は、不動産鑑定による。



土岐市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

**討論** 議員の期末手当同様、ごみ処理手数料やその他使用料、手数料の改定がされた中の期末手当の改定は、市民感情からも理解が得られないと考えこの条例には反対する。

## 委員会報告(第2常任委員会)

平成 29 年度土岐市一般会計補正予算(第 5 号) 所管部分について

**質疑** 観光費について、NHK 連続テレビ小説「半分、青い」放送に伴い、東濃ぐるりん観光事業で作成される観光パンフレットの内容、印刷部数、配布先は。

**答弁** NHK 発行の週刊番組情報誌「ステラ」で 12 ページの特集を組み、そのページを抜き出したロケ地情報観光パンフレットを 10 万部印刷する予定であるが、配布先は未定である。



**質疑** 農地費について、土岐川防災ダム土砂浚渫工事費で土岐市の負担は 26.8%だが、他の 3 市の負担割合は。

**答弁** 均等割、受益面積割、人口割、河川延長割、市街地被害面積割から算出されており、恵那市は 20.6%、瑞浪市は 29.4%、多治見市は 23.2%である。

土岐市郷土物産陳列所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

**質疑** 土岐市郷土物産陳列所は観光案内所を兼ね、陶器の販売も行っていたが、駅周辺で代替施設は考えているか。

**答弁** 観光パンフレット等の設置場所は現在調整中である。陶器の販売についてはセラトピア土岐に陶土う庵があり、新たな施設の設置は考えていないが、既存の施設の利用を検討したい。

**質疑** 来場者数の変化は。

**答弁** ここ 10 年で 1,000 人余り減っており、来場者は 1 日あたり 10 人にも満たない。



## 常任委員会とは

常任委員会は、議案や請願などを詳細に審査し、専門的に調査するため、常時置かれている委員会です。

土岐市議会では行政の各部門に応じて、担当する 2 つの常任委員会があり、議員はどちらか 1 つの委員会に所属し、任期は 1 年です。



### 第 1 常任委員会

総務部、市民部、福祉事務所、会計課、消防本部、市立総合病院、老人保健施設やすらぎ及び駄知診療所の所管事項並びに第 2 常任委員会の所管に属さない事項



### 第 2 常任委員会

建設部、経済環境部、水道部下水道課、水道部水道課、農業委員会及び教育委員会の所管事項



# 一 般 質 問

12月議会では、11名の議員が市政の方針や考え方を問う一般質問を行いました。議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しておりますが、紙面上、文字数に制限があり、なかなか思いや考えを伝えることができません。土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

## ●アクセス方法

### 視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒  
 議会ライブ中継 ⇒ 本日の議会中継  
 ⇒ 過去の映像 ⇒ 一般質問

### 文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒  
 議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

## 《第5回定例会一般質問》



● 北谷 峰二 ●

### ◆ゴミ処理手数料制度説明会

問 ゴミ袋の値上げについて皆さんから理解を得られたのか。また今後の課題は。

答 多くの質問・ご意見に丁寧にお答えし、市の考え方を申し上げ、一定の理解を得られたと認識している。今後の課題として、今後とも制度の周知理解に努めていきたい。

問 最近、突然ゴミの回収が厳しくなりシールを貼られ回収されなくなりました。不燃ゴミはいつから市指定の袋に入れなければならないようになったのか。

答 過去から不燃ゴミも市指定の袋に入れて出すことが本来であるが、実際は袋に入れなくても回収をしていた。平成30年からゴミ処理手数料制度が実施されるということでルールをきちんとした形でやっていた。問 ある日から突然シールを貼られ残っている。最近厳しくなったのであれば周知徹底するべきでは。

答 ゴミの出し方ルールについて、わかりやすいマニュアルを小冊子にして、今年度中に全戸配布する準備を進めている。

◆新庁舎に太陽光発電設備を設置しないことについて(再質問)

問 9月定例会にて、例えば10kwでインシヤルコストが960万円と答弁されているが、私の試算では310万円と設置可能であるが、この960万円の試算根拠は。

答 210W出力の太陽電池モジュール48枚設置する仮定で306万円、モジュールを載せる架台85万円、パワーコンディショナー91万円、その他監視装置、日射計、気温計、表示装置等付属品162万円、これらの機器合計644万円。設置工事費145万円、その他費用101万円と消費税加算し合計約960万円と試算。58・2年での費用の回収はNED及び気象協会の岐阜、多治見の日射データにより年間発電予測電力量を算出し、年間16万5千円の電気料金が削減と見込み960万円をこの年間節約金額で割り58・2年となる。問 最近、民間の方が余剰地を利用して、太陽光発電に投資されるものが増えていますが、50年も掛かるものに対して投資されるのでしょうか。答 50年掛かるという前提で、実際に投資されるのかについては、私がお答えすべき問題ではない。●太陽光発電システムというものを再検討して頂きたい強く要望する。



水石 玲子

◆子育て世代への環境整備

問 母子保健法が改正され、母子への支援体制が強化されました。妊娠期から子育て期にわたるきめ細やかな支援を切れ目なく行う子育て世代包括支援センターの現状を伺います。

答 子育て世代包括支援センターは設置していないが、妊産婦、乳幼児の把握、相談、保健医療、福祉に関することは保健センター、子育て支援を主とする業務は、本庁の子育て支援課で行っている。

問 今後の取り組みを伺います。

答 平成32年度末までの設置に向けて先行市の事例を参考にしながら検討し、取り組んでいく。

問 平成24年より東濃厚生病院において、病後児対応の受け入れを実施しているが、平成29年度の利用状況を伺います。

答 11月末現在で延べ人数4人、実人数は2人の方が利用している。

問 今年度より恵那市が広域連携から抜け、恵那病院において病児対応を始めたため、土岐市の負担が増えて

いることから、市内に病児・病後児保育施設の設置の考えを伺います。

答 設備投資、保育士、看護師の人員費等、現在の利用状況からみても現行式の方がふさわしいと考える。



◆いじめ対策について

問 最近の若年層の交流の手段として、音声通話よりもSNSの活用が増えている。いじめの相談がしやすい環境づくりとして、SNS、LINEを活用しての相談体制についてのお考えを伺います。

答 スマートフォンの普及に伴い、LINEなどのSNSの割合が多くなってきている現在、音声通話だけでなくSNSを活用した相談体制の構築が求められていることは認識している。しかし相談員の確保の問題等があり、市単独での実施は困難である。先行して実施している地域や団体等の実績、改善点を踏まえ検討していく。

《第5回定例会一般質問》



後藤 久男

◆ふるさと納税について

問 ふるさと納税の在り方。ふるさと納税を推進し、特産品の陶磁器のPRについて市長の見解は。

答 制度的には賛成だが過度な返礼をするという事は、余り賛成しかねます。陶磁器のPRについては別の方法で行っていきたいと思っている。

問 2008年から現在までのふるさと納税額及び件数は。

答 合計39件145万7199円。

問 ふるさと応援基金の3事業①子どもたちを育てる事業②美濃焼の振興に関する事業③住みよいまちづくりに関する事業をこれだけの寄付金でできるのか。

答 (市長) おっしゃるとおりこの金額ではなかなかできない。今までの額ではありませんでしたが、やはりその目的に合った事業に今後は充当していきたいと考えている。

問 寄付者へのアンケート調査の実施や、寄付者から特産品を知人に広めていただくような事業展開をし、効果的なシティブロモートの手法を考

えてはどうか。

答 これまでと同様の形で感謝の意を表すという事を考えており、返礼品を前面に打ち出した形でのシティブロモーションというのは考えていません。

◆土岐市のイメージアップについて

問 映画やドラマの撮影場所誘致や撮影支援をするフィルムコミッションという組織があり、地域の活性化、文化振興、観光振興を図ることを目的としている。市のイメージアップとしての取り組みがその後、観光振興や市民の郷土愛の醸成などさまざまな効果を上げている。また、平成30年度前期に東濃を舞台としたNHK連続テレビ小説「半分、青い」が放送予定となっており、現在、恵那市を中心に撮影中であり、これこそ千載一遇のチャンスだと思いませんか。

答 東濃地域が舞台になるということで、土岐市を全国にPRする大きなチャンスと捉えており、観光振興にもつなげていきたい、東濃5市で連携し、PR関連事業の補正予算を上程しているところです。

問 イメージアップ及び知名度の向上を図るため、ふるさと観光大使の増員をしてはどうか。

答 メジャーになる可能性があればそういうことも考えに入れていきたい。



西尾 隆久

◆障がい者就労について

問本市の障がい者数は。

答身体障がい者2,479名、知的障がい者519名、精神障がい者487名。合計3,485名

問企業、事業所、福祉関係の就労者数は。

答平成28年度のデータで障がい者の求職者数835人に対し、就職件数は235人で就職率は28・1%。

問就労移行支援事業について。

答34人の方が利用され、現在までに一般就労された方が3名。その他8名が福祉就労。21名が継続して移行支援事業を利用されている。

問本市のB型作業所数は。

答平成28年の12月に4か所あったのが、1か所事業廃止され、平成29年4月に2か所が開設。12月に新規1か所が開設され、現在6か所。

問農福連携についての現状は。

答本市の作業所で農作業に取り組んでいる事業所は2か所で参加人数は事業所内の畑で玉ねぎ等を栽培している就労継続支援B型作業所に約15

◆情報提供、重要施策、計画について

問説明会の実施について。

答重要施策の計画策定あるいは実施において、住民の方への説明は非常に重要であるという認識のなか、今後、こういった計画について、どのような形で知らせていくのか、今後の課題として検討していく。

◆ご当地ナンバーについて

問ご当地ナンバー東美濃について。

答東美濃ナンバー実現協議会が設立され、参加されている関係者、全会一致で運動をすすめる合意がされた。

問今後のPR活動について。

答チラシに加え、ティッシュのようなノベルティを活用するとともに、のぼり、横断幕、懸垂幕を東美濃ナンバー実現協議会で展開していく。



△土岐市役所でのPR

《第5回定例会一般質問》

◆ごみ処理手数料について

問料金改定について議決の際に附帯決議の中で、説明会の結果を踏まえ再度有料化の検証をすとの項目があるが説明会での説明は。

答附帯決議について詳細に説明したといったことはございません。

問附帯決議にこうい項目があることを説明されなかったのか。

答処理制度・家庭ごみの処理手数料制度の説明で、附帯決議についての説明は思っておりませんでした。

問附帯決議は重いと思っております。説明するべきだと思えますが。

答軽視をしておるつもりはございませんが舌足らずな部分があった事についてはおわびを申し上げます。

問附帯決議にある再度有料化の検証をどのようにされたのか。

答ごみ処理手数料制度については説明会で一定のご理解が得られたという事で認識をいたしております。

問大1袋の処理費用に対する市民負担は多治見市や瑞浪市は約25%以下となっているのに対し土岐市は37・



山内 房壽

5%と突出した数値となっているが市長の見解は。

答(市長) 総合的に近隣市とどのぐらいのレベルにあるかという料金体系で私は決められたらと思っております。



△ごみ処理手数料制度説明会の様子

◆総合病院について

問残業代未払いについて市民からお叱りを受けましたがその内容は。

答今回の多治見労働基準監督署の是正勧告の件につきましては、労務管理を適切に行っていないかったことに對し深くおわびを申し上げます。

問行政指導ということで、処分ではなく指導という認識で良いのか。

答行政指導だと聞いております。

問市長の見解は。

答(市長) 法令違反とは夢にも思いませんでしたが、労働基準監督署に従い是正していきたいと思えます。



● 小栗 恒雄 ●

◆市内のごみ屋敷及びセルフネグレクトの現状と対応について

問 土岐市内のごみ屋敷及びごみ屋敷予備軍を含めた軒数は何軒あるのでしょうか。ご答弁をお願いします。

答 ごみ屋敷は市内に約10軒あり、また敷地外までも出ており、外部から容易に確認できて、住民から苦情、相談などで認知しているもの、所有者の意思によらず、通常、人が見て判断できるものというところで、今年度近隣住民や民生委員さんなどからのご相談で、家庭に訪問した際に、家の中の状態としまして、ごみをとめ込んだり放置しているケースが11件ほどございました。ごみ屋敷といふかは別にして、このような家庭は少なからずあるものと考えます。

問 本格的なごみ屋敷になる前に、本人による問題解消が困難な場合の支援を規定したり、福祉や医療、生活支援等の部門とともに連携して解決する内容の条例制定を提案したいと思えます。ご答弁をお願いします。

答 ごみ屋敷というのは表に現れてく

る症状の一つであり、セルフネグレクトも含めまして、個人の心のあり方についての問題の解決を条例で規定することは難しいと感じています。条例というよりむしろ、関係部局等が横断的に協力しながら、プロジェクトチームといったもので、事案に対して柔軟に対応することが必要と考えているところです。

問 国の推計では、高齢者だけでも1万2千人以上セルフネグレクトの人がお見えになって、いかに早く発見し、支援し、生活を安定させるか。ごみ屋敷に対応したのをきっかけに、セルフネグレクトの問題を意識し、粘り強い支援体制が必要です。土岐市の具体的な対応を質問します。

答 ごみ屋敷やセルフネグレクトは高齢者や高齢者世帯に限ったものではなく、若者や若い世帯でも起こっております。こういった方を早期に発見し、対応することが必要ですが、行政だけではなかなか難しい面もございます。民生児童委員さんや、今年度、地域の金融機関や新聞販売店等々と地域の見守り協定を締結するところでありまして、そういった見守り活動の強化や閉じこもり防止対策の充実が必要と考えています。今後状況にに応じて、所管課や関係機関とも連携をとるなどして、取り組んでまいりたいと考えています。

《第5回定例会一般質問》



● 和田 悦子 ●

◆温室効果ガスの削減について

問 これまでの取り組みで削減目標がどれ位達成できたのか。

答 温室効果ガスの年間排出量は平成28年度は1万1727CO<sub>2</sub>トン。平成12年度と比較して281トン減。

問 温暖化対策実行計画は市職員の責務なので、一般廃棄物の焼却は対象外ということだが、温室効果ガス総排出量の5割です。市民の協力は欠かせないと思う。自治会やPTAの資源回収の状況は。

答 自治会の資源回収・PTA等の集団回収は若干減ってきている。分別不足による減少ではなく、店舗等で資源回収ボックスが多くあるので、そちらに出されるケースがあると考えている。

問 環境センターの熱源と年間の使用量、経費について

答 灯油を使用。平成26年111kℓで925万円。平成27年度100kℓで885万円。平成28年度93kℓで432万円。効率よく処理できている。

問 薬剤の使用は。

答 焼却飛灰の重金属を凝集固定するためキレート剤という薬品を使用。排ガスに含まれる硫酸酸化物や塩化水素を除去するため消石灰を使用。

問 一般廃棄物の焼却において二酸化炭素の排出量はどれくらいか。

答 平成28年度は1万2473CO<sub>2</sub>トンとなっている。

問 運搬車両のガソリンからの二酸化炭素の排出量は。

答 収集車両、重機等が30台ある。これらは軽油を使用。年間の排出量は150CO<sub>2</sub>トン程度。

問 ゴミ処理コストは年々増加。平成23年4億3055万円。平成26年は5億754万円。生ごみは何割か。

答 生ごみの組成率でいうと平成28年度は13%で約2300トン。

問 ゴミ質改善に向けて、ポスターや市の広報車で啓発をよびかけるのはどうか。

答 広報、案内チラシ、ホームページで啓発に努めたい。

◆核3科学的特性マップについて

問 市民が処分場を受け入れられないようにと県下市町村に要請書を出しました。土岐市としては、瑞浪市の土地ではなく、土岐市内の土地についての回答が必要だったのではないか。

答 放射性廃棄物を受け入れるつもりはない。4者でそういう文言を使っているのが具体例としてあげた。





各務 和彦

◆第6次総合計画、施策8 交通安全の推進について

①ゾーン30規制。指定区域内の生活道路を時速30キロの走行制限をすることにより、歩行者・自転車の安全を優先する交通安全対策の効果は。

②事故の発生件数が20件、うち物損事故が20件。死傷者が0名。規制前と比較すると、事故発生件数が5件の減少であるが、効果云々ということがなかなか難しい。

③イオンモール建設予定地の中山団地の交通安全対策としてゾーン30設置の考えはございますか。

④今後、施設が稼働し始めましたら具体的な要請等が提出されるようなこともございますので、生活道路に及ぶ交通事情の悪化や渋滞等が現実の問題となってきたから、具体的にやっていくのではないかとということ考えております。

⑤通学路安全プログラムについて。⑥年度当初に各学校でPTA役員の協力を得て通学路の危険個所の点検を行い、市に報告をして戴いております。

ます。そして、その結果をもとにしまして、協議会で、市で対応する事、国や県に要望していく事などを確認いたしました。一連の流れを通学路安全プログラムとして実施をしている。

⑦登校時に分団に付き添って行かれる祖父母、交差点で個人的にボランティアで見守りをしていた方々が交通事故に見舞われた際には、補償はあるのでしょうか。

⑧公共奉仕活動中に傷害を受けた市民に対して、見舞金を支給するというところで、土岐市公共奉仕活動傷害見舞金支給要綱があり、要件を満たせば見舞金として支給することが可能となっております。

⑨泉町連合区さんが、見守り参加の呼びかけ、名簿作成の行動を起こされています。地域との連携は。

⑩教育委員会としても、承知しておるところです。泉町の連合区さんの子どもたちの安心・安全な登下校に対する意識の高さを非常に感じているところがございます。大変、見本になる取り組みですので、土岐市としてもコミュニティスクールの構築についても方向づけがありますので、この安全見守りの組織体をどんなふう位置付けていくかということ参考させていただいて、今後進めてまいりたいと思っております。

《第5回定例会一般質問》



渡邊 隆

◆子ども家庭福祉と子どもを守り、子どもが育つ地域づくり

①児童福祉法において、子ども家庭福祉へと考え方が変わってきたその主旨と経緯について説明願います。

②児童福祉法は昭和22年にすべての児童が平等に生活が保障され愛護され、そのためにすべての国民が努力し、国・地方公共団体と児童の保護者が児童の健全育成に責任を負うという理念のもと制定されています。平成28年改正で、新たに保護者の支援という規定が加えられ、児童保護の視点から、児童と保護者を含め家族を支援することで児童の健全な養育環境を保とうという考えです。

③子ども家庭福祉の視点から、具体的な方策の説明を。

④母子家庭を対象としていた児童扶養手当を父子家庭まで対象を拡大し、その他児童手当、福祉医療などの経済支援や、通常の保育サービスの他に、子育て支援センターでの相談支援など、様々な法改正の中できめ細やかな子育て支援を行っているところ

ろです。

⑤児童福祉法が平成20年以降毎年改正される中、子どもの利益の観点の明確化という点ではいかがですか。

⑥今般の改正で、子ども個人の権利の明確化へと進み「児童虐待の発生予防、発生時の迅速かつ明確な対応、被虐待児童への自立支援」などが盛り込まれ、子ども本位の制度として見直しがされ、地方自治体の役割として、市が家庭児童相談員を配置し対応する体制を確立しています。

⑦市内において、子どもの現況、虐待防止方策、実際の事例の説明を。

⑧取り組みでは、早期の発見や対応が重要であり、保健センターによる乳児全戸訪問や健診や保育園・幼稚園・学校での観察に努め、必要な相談支援をします。市では、子育て支援課を中心に県東濃子ども相談センターと連携して、いち早く連絡し、48時間以内に子どもの安否確認ができる体制をとっています。

⑨ひとり親家庭、女性の支援制度、次世代育成支援、子ども貧困問題について説明を。

⑩多様な生活型に合わせて、相談員・支援員の配置など対応に努めています。貧困問題については今年度、土岐市子ども調査を実施し、分析中です。年度内には報告書をまとめ、結果が報告できます。



● 小関 篤司 ●

◆公共施設の使用料・手数料や使用について

問5施設の使用料・手数料の改定後、前年度と今年度で4月から10月まで、件数はどうなったのか。

答セラトピア土岐は平成28年2908件から平成29年2733件です。セラテクノ土岐の28年度は使用料関係347件、手数料関係は4647件、29年は使用料関係286件、手数料関係4133件です。文化プラザは28年度2372件、29年度1952件です。体育館は28年度709件、29年度は669件。公民館は28年度7110件、29年度は7144件です。

問同様に金額はどうでしょうか。

答セラトピア土岐は28年度1631万5294円、29年度は1699万3429円です。セラテクノ土岐の28年度で使用料関係は66万2750円、手数料関係は839万4660円、29年度の使用料関係は48万5550円、手数料関係は878万2640円です。

問使用料・手数料改定後の推移についてどのように考えているか。

答セラテクノ土岐は陶磁器業界の景気の動向なども関係してくる。ある程度期間をみて分析していきます。文化プラザは庁舎の建設で駐車場が非常に少ないことが影響している。

問今後の改定で利用者減少についてどのように考えるか。

答例えば利用者が激減し、それが使用料の見直しによるものであれば検討も必要。ただ利用者増の施設も踏まえ全般的に検討していきます。

問公民館の使用許可期日はどうなっていますか。

答今年4月から、各公民館が統一して使用する月の前の月の1日からと公民館長会に諮り、変更しました。

問下石公民館のジョイホールなどは200名以上を呼ぶ施設が1カ月前では大変だと市民から相談があったが、公民館長会で議論はあったか。

答期間が利便性を著しく欠き活動を著しく阻害するとは考えていません。問市民の方も公民館に不便を訴えたが話し合いはされたのか。

答公民館長会ではそういった意見は出ていません。

問市民の声をどう考えているのか。(答)教育長 私は議論の場に行ってもいいと思います。声を聞いて十分検討していきます。

《第5回定例会一般質問》



● 高井由美子 ●

◆プログラミング教育について

問平成29年3月の学習指導要領の改定で、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されます。必修化に向けての土岐市の現状をお伺いいたします。

答現在、中学校の技術・家庭科の分野でパソコンを使ったプログラミング教育が行われている。小学校ではプログラミング的な思考をどう身につけるのかということで研修会、協議会をつくり、国・県や近隣市の状況を捉えながら進めていく。

◆障がい者支援のあり方について

問障がい認定に至らない子どもへの認識と取り組みについて伺います。

答保育や教育の場で集団になじめない行動が見られるものの、診断がつかない、もしくは医療未受診のお子さん、保育園・幼稚園で58名みえます。園での生活を支援する支援員を配置して、個別支援計画を立てている。また各園1名ずつ特別支援コーナーディネーターを配置している。

問軽度の障がいの疑いのある子ども

の育成のため、福井県方式の支援ツール「子育てファイルふくいっ子」を参考に取り組んでみては。

答先進事例を研究しながら、発達支援検討チームで検討していく。

◆歯と口腔の健康づくりについて

問歯を失う主な原因は、虫歯と歯周病で、老化ではなく立派な病気です。

問歯科検診の受診率は。

答幼児健診は90〜96%受診。幼・小・中は特別な事情の児童・生徒を除いて全員が受診している。妊婦歯科検診9・5%、歯周病健診5%、さわやか口腔健診5・9%。

問歯と口の健康増進に関する条例制定への考えは。

答「健康とき21」計画で基本理念を定め、歯と口腔を含む健康の保持・増進に取り組んでいる。条例制定は考えていない。



△岐阜県学校歯科保健優良校表彰報告会

# 視察報告

## 第1 常任委員会

11月9日 愛知県一宮市

### ○市役所駐車場の有料化について

一宮市は、人口約38万人の総合繊維産業都市。平成17年から市役所駐車場を混雑の緩和と適正利用の推進のため、有料化を導入し、平成26年新庁舎竣工と共に立体駐車場建設により380台を確保された。市の事務の為、来庁される方は、減免規定により無料。他は30分毎に100円の使用料。発券機・精算機の保守管理、警備人件費等により、駐車代金収入では賅っていないとの事。職員は、個人で民間の駐車場を借りているとの事に感銘を受けました。



△一宮市



△明石市

11月10日 兵庫県明石市

### ○明石市子ども養育支援ネットワークについて

明石市は、人口約29万人の住宅都市・産業都市として著しい成長を遂げている。平成23年から、子どもを核としたまちづくりを推進し、養育支援ネットワークを運用され、全国で初めて、離婚や別居に伴う養育費や面会交流等の支援を実施され、他に無戸籍者支援等にも取り組まれ、全ての子どもが大切にされ、元気にのびのびと安心して育つことができるように、弁護士資格をお持ちの職員の方々が率先して先進的な施策を進められている事が印象的でした。

## 第2 常任委員会

11月7日 兵庫県西脇市

### ○放課後学習支援・小規模特認校について

放課後の時間を利用し、教師OBそして大学生を支援員として、教師と連携し児童生徒の学習のつまづき解消や家庭学習が身につく、児童生徒一人一人の学習意欲が高まっている。小規模特認校は自然に恵まれた山間地域での学校存続や複式学級の解消のために制度を導入し、校区外からでも入学できる。この特認校児童は人前で自分の意見を言える様になるなど、児童の自己研鑽に繋がっており、この2つの事業は大いに参考となり本市教育の質の向上として取り組むべきと提案する。



△西脇市立双葉小学校

11月8日 大阪府泉南市

### ○イオンモール開業後の経済効果及び課題について

イオンの進出により事業所数全体では微減傾向であるが従業者数は微増し大規模店舗による雇用促進は効果があり地元との交流や協力もある。インスタグラムを活用した泉南市の魅力発信の為にフォトコンテストを実施し全国から600を超える応募があり市単独では応募が過去になかったようだ。交通渋滞は、主要幹線道路が南北に3本あり、それぞれの連結道路（東西）があり1本増やしたことにより大渋滞が緩和されている今後の本市渋滞緩和対策の参考となった。



△泉南市

# 平成29年度議会報告会を開催しました

## 6会場で 200人が参加

土岐市議会では、平成29年度議会報告会を平成29年10月17日から27日にかけて、中学校区を単位に市内6会場で開催しました。今後も開かれた議会を念頭に、皆様への説明責任を十分に果たしてまいります。

テーマ

1. 新庁舎建設について
2. 駅前広場整備について
3. 土岐口開発について

主なご意見・ご感想

※報告会で皆様からいただいたご意見・ご感想は、土岐市ホームページに掲載しています。

○新庁舎建設について

- ・模型を見たが、立派な建物だと感じた。完成が楽しみ。
- ・みんなの市庁舎として親しまれる、安全で使いやすい新庁舎が完成することを願っています。
- ・説明時の専門用語がわからないので、もっと、わかりやすい言葉で説明してほしい。



▲新庁舎窓口イメージ

○駅前広場整備について

- ・広場を整備するだけで駅前が発展するか、駅前全体を考えることが必要ではないか。
- ・JR土岐市駅の特徴、売りは何かあるか。日本一の陶器生産地、土岐市を大きくPRしてほしい。

○土岐口開発について

- ・イオンモールができ、土岐市が活性化されることはすばらしいことだと思う。
- ・イオンモール出店（アウトレット含め）、大型ショッピングセンターも結構ですが、街中の活性化が重要ではないか。
- ・道路混雑が心配。



▲議会報告会 肥田公民館

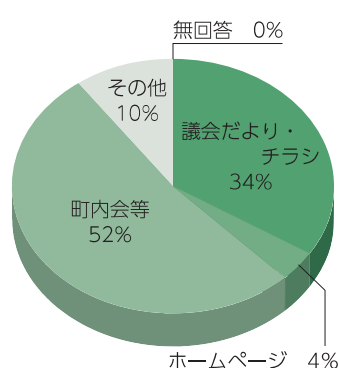
○その他

- ・土岐市⇄多治見市の交通アクセス改善が大きな課題。
- ・生まれてからずっと土岐市に住んでおり、これからも住んでいくつもり。一市民として土岐市が発展することを期待しているので、たくさんの情報提供をお願いします。

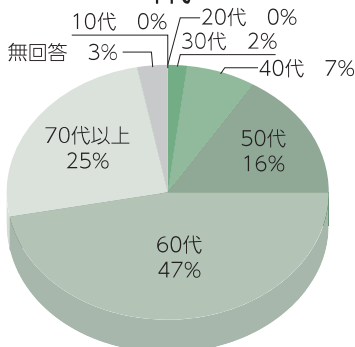
行政に対する要望等については、市長に報告し、議会に対する要望等については、今後、協議・検討していきます。

### アンケート結果

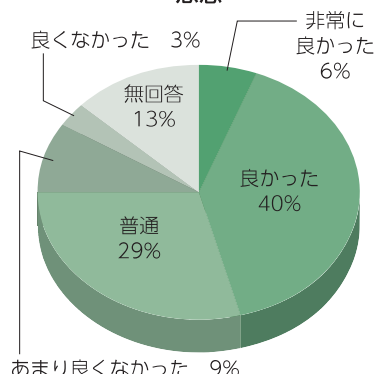
議会報告会を何で知りましたか



年代



感想



# あなたも市議会を傍聴しませんか！

市議会では、市民の皆さまの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市役所4階にある傍聴席入口の受付で住所・氏名・年齢を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。



土岐市議会に  
関するご意見  
ご要望など  
ありましたら  
お聞かせください。



## 土岐市議会事務局

電話：0572-54-1111(代)  
FAX：0572-54-8971  
E-mail：gikai@city.toki.lg.jp

## 次回3月定例会の予定

※午前9時開会予定。(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	3/1	2	3
	本会議 (議案提案説明)					
4	5	6	7	8	9	10
			本会議 (質疑・委員会付託・ 一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
11	12	13	14	15	16	17
	第2常任委員会		第1常任委員会			
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
			本会議 (委員長報告・質疑・ 討論・採決)			

## 編集後記

昨年を実施しました「議会報告会」では、新庁舎建設・駅前広場整備・土岐口開発についてをテーマに開催いたしました。開催会場でのご質問、アンケート用紙においてのご意見等を参考にしまして、今後の議会報告会のあり方、議員としての活動の糧としたいと考えます。今後も多くのご参加をお願いいたします。

昨年は、記録的な短時間大雨が発生し、土岐市においても河川の擁壁等が損壊をしました。修復工事は、順次予定をされていますが災害はいつ起こるか分かりません。昨年の9月1日号「広報とき」に防災特集が掲載されています。防災関連情報サイトの登録も推奨します。まずは、自分の身を守りましょう。

(文責：各務 和彦)

### 議会だより編集委員会

編集委員長：和田 悦子 副編集委員長：小関 篤司  
委員：山内 房壽、山田 正和、鈴木 正義、北谷 峰二、各務 和彦、水石 玲子